

芦高生が1日カフェ

開発のメニュー完売

【芦別】芦別高2年生10人が考案したフードとスイーツ、ドリンクを販売する「高校生カフェ」が5日、道の駅スタープラザ芦別で開かれ、多くの来客で賑わった。

まちの活性化を目指す芦別市地方創生塾が主催する事業。売上金は市に寄付され、次年度の高校生カフェに活用される。

生徒たちが開発した今年のメニューは、オ

ム焼きそばとアイスクリームを乗せたベビーカーデラ、トロピカルジュースとココア。道の駅前に設置されたテントには、早々に長蛇の列が作られていた。特に人気だったオム

で当初販売を予定していた50食を完売。追加分の材料を仕入れるほどの好評ぶりだった。生徒たちは汗をぬぐいながら、次から次へ入ってくるオーダーを必死に捌いていた。

【村澤由香里】

